

令和4年度 堺市立図書館サービス評価(案) 各館取組み評価表

Ⅳ 令和4年度 各区図書館の取組み状況

	質問	回答
	ぬいぐるみお泊まり会を行政サービスでやる意義はどの点にあるのでしょうか？親んでもらうのに効果的な取組みが他にある気はします。	普段は本を見たり借りたりする場所である図書館に、自分の大切にしているぬいぐるみを預けて、自分のかわりにお泊まりしたり、絵本を読んだり、という非日常な世界を提供することで、子どもに図書館や読書への関心をより高めてもらいたいとの思いから実施しました。 他市では実施されていますが、本市図書館としては初めての取り組みであり、経験値を得られたことは一定意義があったものと感じています。 今後は、この経験も材料に、図書館に親しみをもってもらい、より効果的な取り組みを検討します。
中区	保護者向け講座も基幹型包括支援センターとの協力事業の講座も意義があり参加者には好評ただけに定員に達しなかったことは残念。区外の図書館でも宣伝していたのでしょうか？普段利用していない人を対象というなら、南で実施したように近隣の小学校にチラシ配布もよかった。	両講座の広報として、市内全図書館と各区役所市政情報コーナー、中文化会館等にチラシ・ポスターの配架を依頼しました。また、図書館ホームページやTwitterなどインターネットを利用した広報も行いました。しかし、学校への配布は行っておらず、今後は既存の手段にとられない対象者に応じた柔軟な広報を行っていきます。
	課題解決支援講座について、定員40人に対し、参加者19名であったが、社会的にも重要なテーマだと思うので、続けて欲しい。10月の講座について、中基幹型包括支援センターがどのように関わっているのか知りたい。その関わり方が、今後の改善にも活かせるのではないか。	中基幹型包括支援センターとは、H30からパネル展示や講座開催など、連携事業を継続し行っています。10月の講座についても、講師を紹介していただくとともに、講座の後半には、中地域包括支援センター職員による地域に密着したサービス内容や制度についての情報提供等も行いました。今後も、より連携を深め、取り組みを継続していくとともに、イベント広報については、両施設で積極的に行うなど、必要とされる方に情報を届けられるように努めます。

	<p>小学生高学年向けの体験講座の広報で近隣小学校へのチラシ配布は評価できる。南区全体の小学校への配布だったのか、図書館の近隣の小学校だけだったのか、どちらですか？</p>	<p>図書館近隣の小学校2校にチラシを持参し、配布依頼を行いました。</p>
<p>南区</p>	<p>ハッピーファーストブックについて質問です。南区ではBCG接種の際に保健センターから配布されるものですが、その本の選定は南図書館でしょうか？堺市全体で同じ本なのかとっていました。</p>	<p>南区で配布している絵本の選定は南図書館で行いました。(各区ごとに違う本を配布しています)</p>
	<p>南図書館ホールのWeb申込および集会室の空き状況はネットで確認できますが、予約は可能でしょうか？空き状況が見れる状態であれば予約もおこなえたらさらに利便性が高まり市民ニーズにあうとおもいます。</p>	<p>ホールについてはWebからの予約申し込みが可能です。集会室については利用可能団体を社会教育団体等に限定していますが、施設予約システムでは対象を限定できないため、空き状況の確認のみとしています。</p>
<p>北区</p>	<p>非来館型イベントのバナーではなく、回答の画面を見せて欲しい(バナーでは中身が伝わらないので)。また実施する意義はあると思うが、もっと回答件数を増やす工夫や、気軽に回答できるような工夫も必要だと思います。</p>	<p>非来館イベントの結果報告のページの1例を追加しました。他の非来館イベントの結果も図書館ホームページでご覧いただけます。回答方法が複雑になると、どうしても参加者が減る傾向にあります。今後も内容や回答方法を工夫しながら実施していきます。</p>
<p>美原区</p>	<p>地域の図書館をアピールすることに力を入れているところや意気込みがとてもよい。ただ、「各行事を実施することにより」、や「あらゆる機会を捉えて」など、漠然としたところがあるので、新規利用者を獲得できているのかも含めて、教えていただきたい。</p>	<p>評価いただき、ありがとうございます。 当館は新型コロナウイルス感染症感染拡大以前に比べ利用の落ち込みが顕著であり、令和4年度も他館に比べ回復傾向にあるとは言えません。そのため、利用した方にはリピーターになってもらう、利用したことがない方にはまず図書館を知ってもらうことを目標としており、ご指摘のような書き方になっております。 新規利用者が増えているのかどうかのエビデンスについては、新規登録者(新しく貸出カードを作った人)の人数でしか計ることが難しい状況です。文中にもあります通り新規登録者は通年の数値では増えていませんが、12月以降増加傾向にあります。また、大阪狭山市民の新規登録も12月以降コンスタントにあり、時期的に見て大型商業施設の出店が影響しているものと考えられます。これらの外的な環境の変化を利用するとともに、図書館外の組織や機関への積極的な働きかけによって利用の増加を図りたいと考えています。</p>
<p>移動図書館</p>	<p>運用の実際や成果・課題などの報告を要望したい。</p>	<p>実績については、p12に掲載の通りです。今後、費用対効果を踏まえた巡回場所等を検討する必要があります。</p>